

様式第4号その①（第6条関係）

令和6年4月2日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名 森田卓也

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和5年度政務活動費収支報告書

議員名 森田 卓也

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費		
調査研究費	87,176	87,176
資料作成及び資料購入費		
広報及び広聴費		
人件費		
事務所費		
合計	87,176	87,176

3 残額

176,824 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和5年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目												(単位:円)	
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	視察旅費	調査研究費	68,810												68,810	68,810
2	議長会研修フォーラム	調査研究費	2,701		9,000										11,701	11,701
3	対話による地方議会活性化フォーラム	調査研究費	1,665		5,000										6,665	6,665
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計			73,176		14,000										87,176	87,176

研修開催費		
調査研究費	87,176	87,176
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費		
人件費		
事務所費		
合 計	87,176	87,176

(様式3)

政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	森田 卓也		用 件	① 小中連携の早期整備と特色ある学校づくりについて ② 包括施設管理委託について ③ 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの運営等について
日 程	1月29日 ~ 1月31日 (3日間)			
用 務 地	① 川崎市立はるひ野小中学校 ② 東村山市役所 ③ 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ			
交通手段	■公共交通機関 □私用車 □その他			
パック料金	航空券代+ホテル代 (2泊2食)		65,000 円	
控除額	朝食代 (@900) × 2		-1,800 円	
鉄道賃	東郷 ~ 福岡空港 (往復)		1,660 円	
鉄道賃	羽田空港 ~ はるひ野		900 円	
鉄道賃	はるひ野 ~ 秋葉原		540 円	
鉄道賃	秋葉原 ~ 東村山 (往復)		1,360 円	
鉄道賃	秋葉原 ~ 三鷹		410 円	
鉄道賃	三鷹 ~ 羽田空港		740 円	
車賃	車走行距離 キロ × 37 円		円	
合計			68,810 円	

※航空券+宿泊代をパック料金として計上

※パックには朝食2回が付いていたので、その食事代を控除する

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

領 収 書

24年03月13日発行
:04-036609-041

入金日:2024年01月25日

森田卓也 様

現金 小切手 振込
カード コンビニ

金額 ¥66,000.-

上記金額正に領収いたしました
但し、1/29・31 視察旅費

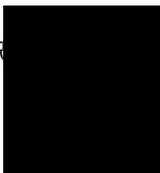
10%対象計	¥66,000	内税	¥6,000
8%対象計	¥0	内税	¥0
非課税対象計	¥0		



福岡市博多区博多駅前3-10-24 博多駅

ラド観光(株)

登録番号:T6120001071915



※金額を訂正したもの、社印なきものは無効とします。

宗像市議会 様

ツド観光株式会社 福岡支店
 観光庁長官登録第一種旅行業第1650号
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24
 博多駅前藤井ビル2階
 TEL (092) 432-1860
 FAX (092) 432-1908

<input type="checkbox"/> 方面	三鷹市・取手市・川崎市
<input type="checkbox"/> 期間	2023年1月29日(月)～1月31日(水)
<input type="checkbox"/> 人員	7名

担当者: XXXXXXXXXX
 携帯: XXXXXXXXXX

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。
 御見積を下記のように提出致しますので、よろしく御願い申し上げます。
 *赤字部分は現地払になります。

種別	区間	運賃(料金含む)		人員台数	小計	地名・施設名	料金	人員	小計		
交 通 費	航空券+宿泊代(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)		65,000	7	455,000			0		
		秋葉原ワシントンホテル(2泊2朝付)				0			0		
						0			0		
	私鉄代・JR代	羽田空港→品川駅→新宿→はるひ野		900	7	6,300			0		
	私鉄代・JR代	はるひ野→新宿→秋葉原		540	7	3,780			0		
	私鉄・JR代	秋葉原=国分寺=東村山(往復)		1,360	7	9,520			0		
	JR代・私鉄代	秋葉原→三鷹→新宿→品川→羽田空港		1,150	7	8,050			0		
JR代・私鉄代	赤間=博多=福岡空港(往復)		1,840	7	12,880			0			
交 通 費 計(A)					495,530	拝 観 入 場 料 計(D)				0	
宿 泊 費	月/日()	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	そ の 他 費 用	国内旅行傷害保険	500	7	3,500
	1/29(月)	秋葉原ワシントンホテル	1泊朝付・1名一室	0	7	0		有料道路・駐車場(概算)	0	0	0
	1/30(火)	秋葉原ワシントンホテル	1泊朝付・1名一室	0	7	0		添乗員経費(同行しません)	0	0	0
			(セット料金を含む)			0		乗務員昼食代	0	0	0
						0		取扱手数料	500	7	3,500
宿 泊 費 計(B)					0	そ の 他 費 用 計(E)				7,000	
食 事 ・ 弁 当	月/日()	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	・上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。 ・ご参加人員が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。 ・交通費及び参観・入場料は、2023年 12月 6日現在の運賃料金を基礎としております。 お一人様旅行代金 (7 名様あたり) ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E)				
	1/29(月)	三鷹市(昼食)	各自で	0	8	0					
	1/29(月)	秋葉原(夕食)	各自で	0	8	0					
	1/30(火)	取手市(昼食)	各自で	0	8	0					
	1/30(火)	秋葉原(夕食)	各自で	0	8	0					
	1/31(水)	川崎市(昼食)	各自で	0	8	0					
食 事 ・ 弁 当 代 計(C)					0	¥71,790					
						¥502,530					

東郷 → 福岡空港

探索順 第1/5経路

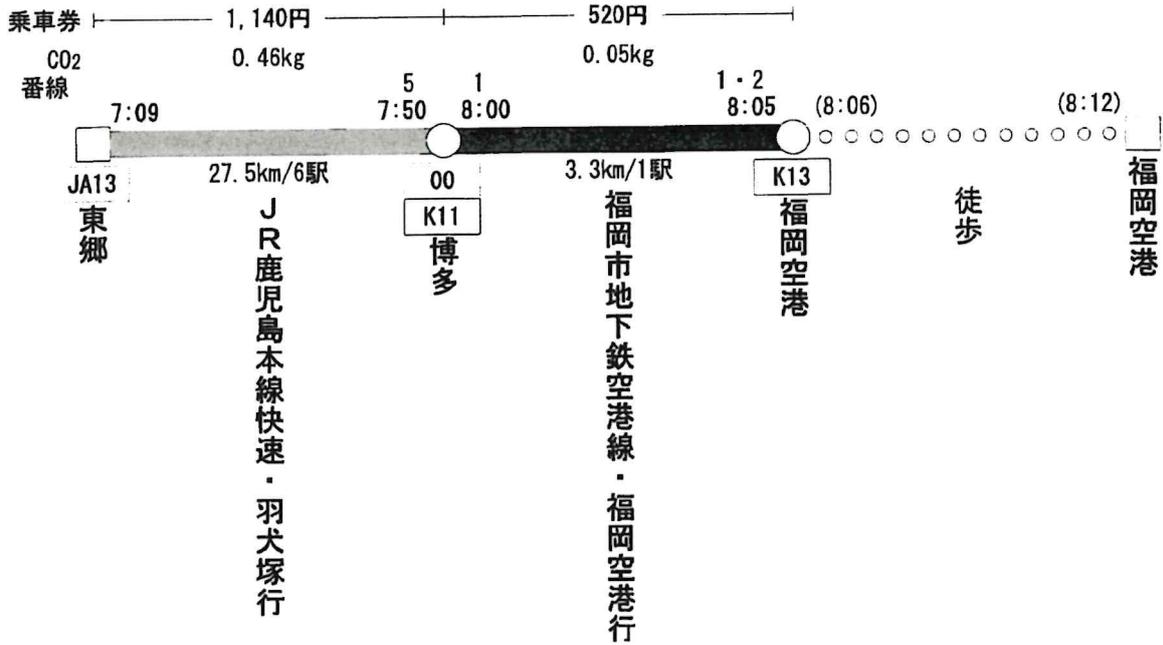
出発日 2024年 1月29日(月)

乗り換え 1回 距離 30.8km

所要時間 1時間3分 (乗車46分 徒歩6分 他11分)

CO₂排出量 0.52kg (🚗 4.0kg)

往復金額 1,660円



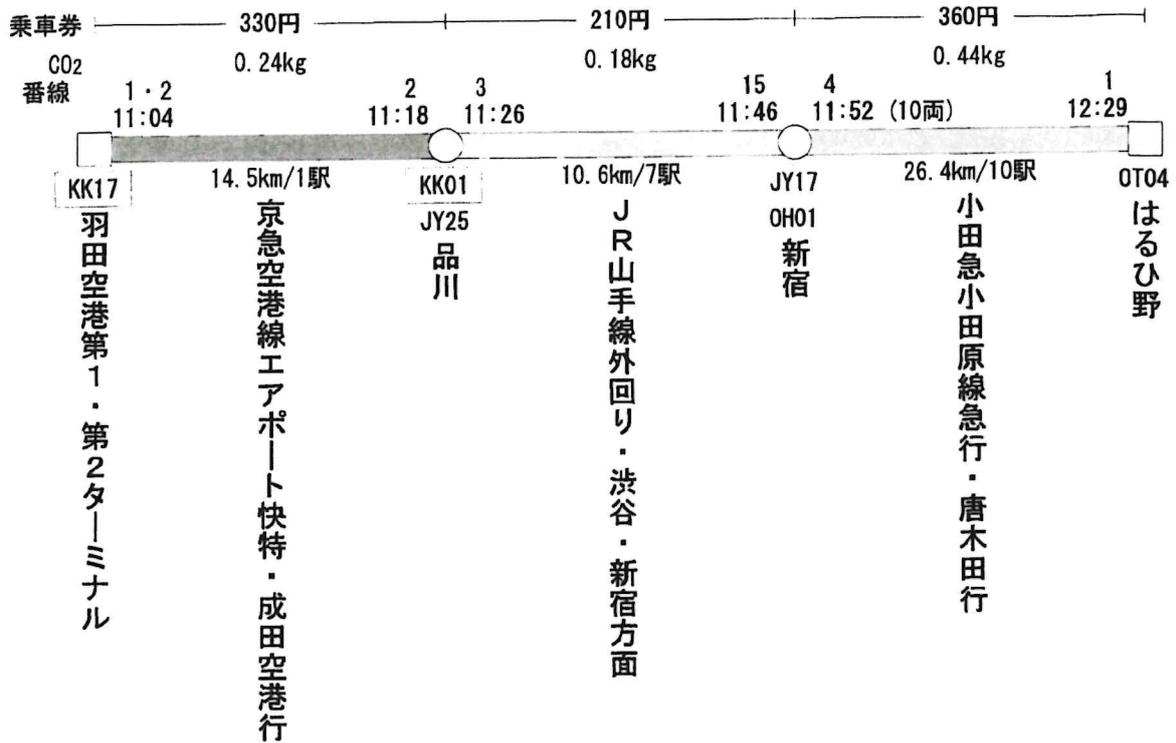
羽田空港第1・第2ターミナル → はるひ野

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月29日(月)
 所要時間 1時間25分 (乗車71分 他14分)
 片道金額 900円

乗り換え 2回 距離 51.5km

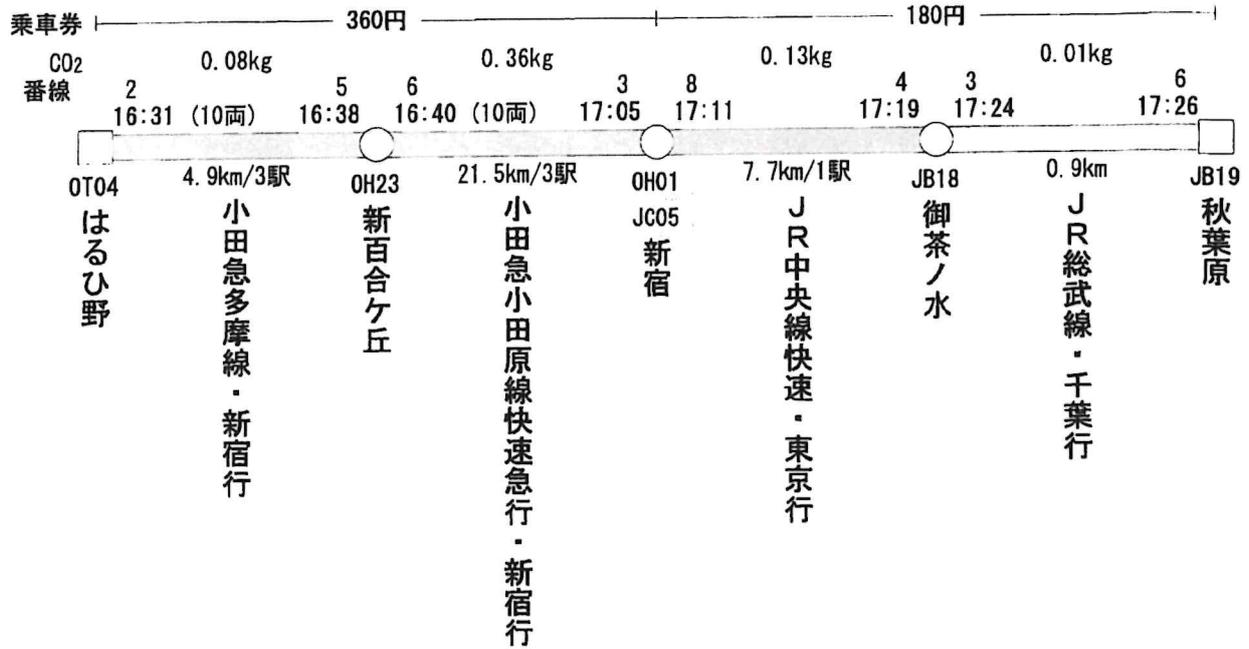
CO₂排出量 0.87kg (🚗 6.6kg)



はるひ野 → 秋葉原

探索順 第1/5経路

出発日	2024年 1月29日(月)	乗り換え	3回	距離	35.0km
所要時間	55分 (乗車42分 他13分)	CO ₂ 排出量	0.59kg	(車)	4.5kg
片道金額	540円				



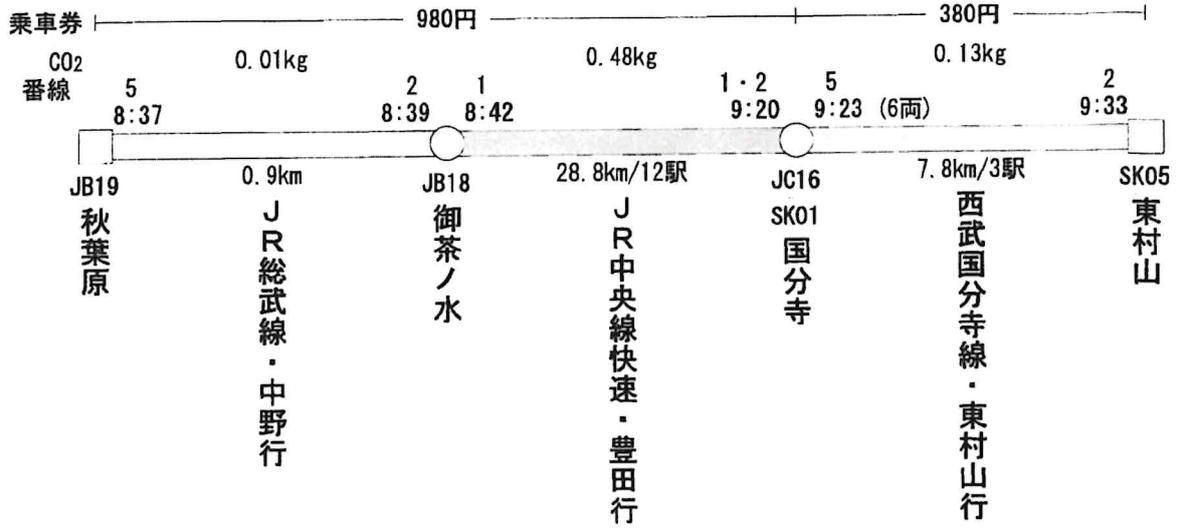
秋葉原 → 東村山

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月30日(火)
所要時間 56分 (乗車50分 他6分)
往復金額 1,360円

乗り換え 2回 距離 37.5km

CO₂排出量 0.63kg (🚗 4.8kg)



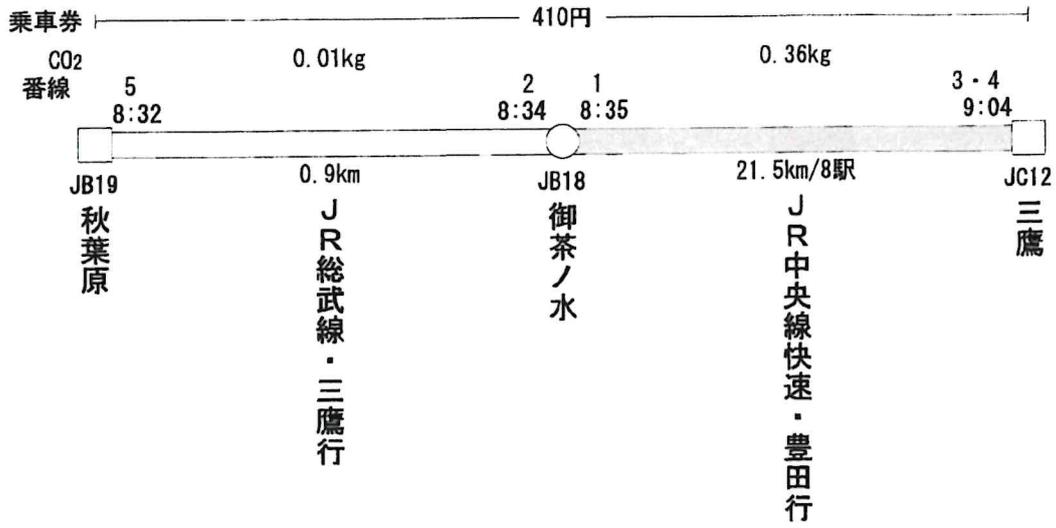
秋葉原 → 三鷹

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月31日(水)
所要時間 32分 (乗車31分 他1分)
片道金額 410円

乗り換え 1回 距離 22.4km

CO₂排出量 0.38kg (🚗 2.9kg)



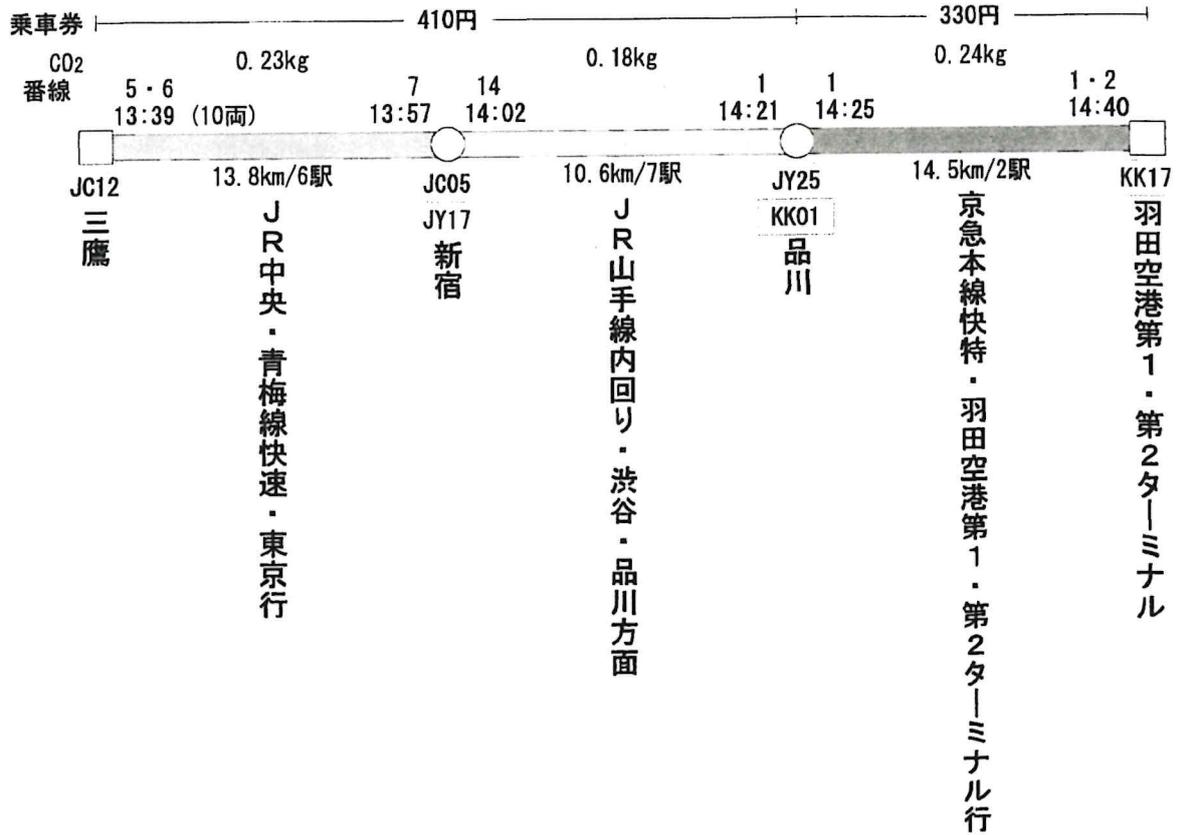
三鷹 → 羽田空港第1・第2ターミナル

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月31日(水)
 所要時間 1時間1分 (乗車52分 他9分)
 片道金額 740円

乗り換え 2回 距離 38.9km

CO₂排出量 0.66kg (🚗 5.0kg)



(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 森田 卓也

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	PFI-BTO による小中学校新設事業について		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日 程	令和6年1月29日(月) ~ 令和6年1月29日(月)		
時 間	14:00 ~ 16:00	場 所	神奈川県川崎市麻生区 市立はるひ野小中学校
概 要	<p>背景) 平成2年からの土地区画整理事業による宅地開発や小田急線開通に伴い、児童生徒数の急増が見込まれるなか、住民との協議会において「学校を地区の中心として、地域交流施設と中学校も整備したい」との要望を受けていた。</p> <p>課題) 市内初の小中合築・施設一体型連携校として特色ある学校づくりが求められる一方、完成までの期限が短く、財政負担の低減や平準化が必要だった。</p> <p>①校舎は4階建て、延床面積は約20,539㎡(うち4,800㎡は平成26年に増築)。大小アリーナや多目的ホール、給食調理室、屋上プールのほか、1階に地域交流センター等がある。令和5年5月1日時点で小学部863人、中学部378人。</p> <p>②「子ども達・教職員が地域と共に成長するコミュニケーションスクール」として、小中は4・3・2制で階を分け、共有空間で交流できるほか、センターへのセキュリティライン(門扉出入時に必ず管理室前を通る)を明確化している。</p> <p>③センターを含む校舎の設計・建設・維持管理と、給食事業の運営をSPCに委託するPFI-BTO(サービス購入型)手法で、平成18年8月末から令和5年3月末まで約55億円で契約(うち国庫負担金が約10億円、交付金が約5800万円)。</p> <p>④現在も同事業者と随意契約で継続し、センター運営はシルバー人材に委託しているが、市全体で包括管理委託を検討中のため、今後移行する可能性がある。</p>		
所 感	<p>学校内にて施設の説明を受けたのち校内の見学を行った。</p> <p>小中一貫校のためいわゆる「中一ギャップ」はほぼ当たらない。</p> <p>地域ホールを併設しているが、学校運営とはかかわりがないため、地域との交流が現状あまりできていない。今後地域との交流をどのように進めていくのかが課題ではないかと感じた。</p>		

(様式2)
視察の様子



(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 森田 卓也

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	公共施設の包括管理委託について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日程	令和6年1月30日(火) ~ 令和6年1月30日(火)		
時間	10:00 ~ 12:00	場所	東京都東村山市役所
概要	<p>背景) 東村山市は平成18年度に財調基金残高が約4億円となり、給与カット等を行うも、20~23年度には都内で唯一、退職手当債を発行する事態となった。24年12月には山梨県笹子トンネル天井板落下事故が起き、市民の安全・安心の確保と事務負担軽減を両立する公共施設管理の方法が求められていた。</p> <p>課題) 施設・所管課ごとの契約で業務水準がバラつき、多大な事務負担があったことや、不具合等が増加・複雑化する中、専門職員の配置が困難になっていた。</p> <p>①29年度に包括管理委託に関するサウンディング調査(10者参加)と公募型プロポーザル(7者参加)を実施。30年2月、管理マネジメントと付加価値提案のできる監督事業者と約8億2800万円で契約(3か年の債務負担行為を設定)。</p> <p>②第1期は、85施設・638業務の従前の維持管理費にマネジメント料の約1800万円/年を上乗せしたが、巡回点検・地元協力会社のスキルアップのほか、無料Wi-Fi設置(第2期は都市OS)などの付加価値サービスは負担なしで実施。</p> <p>③修繕は従前の所管課で行うが、見積徴収・仕様書作成・契約行為・伝票・検収・予算の事務量削減効果は、人件費換算で約7200万円/年(約15,000時間)と算定。職員が本来業務に専念でき、業務の仕様が最適化されて24時間対応できることなど、適正な管理水準への向上・底上げが進んだと評価している。</p>		
所感	<p>包括委託6年目、財政的不安から導入を決意した包括委託について説明を受けた。導入の結果、職員のスキル向上にも繋がり、地元事業者への影響もなくもとの事業者への発注は継続している。とのこと。</p> <p>また、第一期を振り返っての感想は、市が困っていること、やりたいことをさらけ出し、事業者に協力を依頼すること。とのことである。</p> <p>新たな点として、事業者からの提案で施設を管理するアプリがある点は、今後の参考にしたい。</p>		

(様式2)
視察の様子



(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 森田 卓也

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	公共施設の更新と防災公園の一体的活用について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日程	令和6年1月31日(水) ~ 令和6年1月31日(水)		
時間	10:00 ~ 12:00	場所	東京都三鷹市役所、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ
概要	<p>経緯) 平成19年、市役所に隣接していた青果市場移転を契機に、約2haの跡地利用の検討を開始。22年度に市民センター周辺地区整備基本プランを策定し、UR都市機構と防災公園街区整備事業に関する基本協定を締結。24年度に都市計画事業として国交省の承認を受け、25年度に着工、28年度に完成した。</p> <p>課題) 移転に合わせて土地取得と集中投資を行う財源確保に加え、老朽化施設を集約して市民活動と防災力強化の拠点となるよう、機能更新と整備を同時に実現すること。三鷹市では当時、そのような大規模工事の経験は少なかった。</p> <p>①防災公園部の約1.5haには一時避難用の設備等があり、公園地下2階から1階に耐震構造の「SUBARU 総合スポーツセンター」(ネーミングライツ付与)が、市街地部分の約0.5haには「子ども発達支援、総合保健、福祉、生涯学習、総合防災」の各センターが入る5階建て免震構造の「元気創造プラザ」がある。</p> <p>②防災公園街区整備事業は、URが国の出資金を100%充当して用地取得する(市街地部分は50%)ほか、補助金の申請・交付も受けて設計・施工等を実施。自治体は用地費3分の2を20年間で償還、施設費2分の1を15年で償還する。プラザの建物部分は市が事業主体となり、施工・管理をURが受託し整備した。</p> <p>③公益財団法人が指定管理者として運営(市役所利用部分の管理は運営委託)。</p>		
所感	<p>市役所に隣接していた市場移転を契機に、本構想が開始され防災公園が整備された。視察では、防災公園や総合スポーツセンター、元気創造プラザを見学し、一体的に整備されていて、市民にとっても利用しやすい施設だと感じた。特に防災公園には、かまどベンチや防災トイレなども整備されており、近年頻発する自然災害時に市民の避難所としての機能をしっかりと整備・対応している点は本市でも参考になると考える。</p>		

(様式2)
視察の様子





〒811-4163 福岡県宗像市自由ヶ丘5丁目 から 〒802-0001 福岡県 車 36.8 km、1 時間 5 分
北九州市小倉北区浅野3丁目8-1



地図データ ©2024 5 km

国道3号 経由 1時間 5分
交通状況に基づいた現時点の最適ル
ート 37.3 km

国道3号 と 国道199号 経由 1時間 6分
38.9 km

**国道3号、愛宕下到津1号線、お
よび 国道199号 経由** 1時間 5分
36.8 km
多少の交通量 (通常どおり)

$36.8 \times 2 (\text{往復}) = 73.6 \approx 73 \text{ km}$

「〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁 目8-1」周辺のスポット



レストラン



ホテル



ガソリンスタ
ンド



駐車場



もっと見る

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月20日

宗像市議会議員 森田卓也 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム

委員長

金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 森田 卓也

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州		
分類	<input type="checkbox"/> 視察 <input checked="" type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日程	令和5年10月25日(水)		
時間	13:00 ~ 16:50	場所	西日本総合展示場新館1階
概要	<p>(内容) 全国の市議会議長等が一堂に会し、共通する政策の課題について意見交換などを行うもの。</p> <p>第一部 (基調講演) 講師：片山 善博氏 (大正大学教授兼地域構想研究所長) テーマ：「躍動的でワクワクする市議会に」</p> <p>第二部 ◆パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p>		
所感	<p>講師である片山氏の鳥取県知事としての経験談は非常に興味深いものがあり参考となった。</p> <p>日本の地方議会に欠けていることについて ◆議場での議論がない◆税の議論がほとんどない◆住民の声が聴けないとの指摘がなされていた。また、現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきことなどのお話があり、とても参考になった。</p>		

(様式2)
フォーラムの様子



(様式3)

政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	森田 卓也	用 件	輝け議会!!対話による地方議会活性化フォーラム in 飯塚
日 程	令和5年7月29日(1日間)		
用 務 地	飯塚研究開発センター 福岡県飯塚市川津680-41		
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input checked="" type="checkbox"/> 私用車 <input type="checkbox"/> その他()		
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
			円
車賃	私用車走行距離 45 ^{キロ} × 37円		1,665円
合計			1,665円

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。



〒811-4163 福岡県宗像市自由ヶ丘5丁目 から 〒820-0067 福岡県飯塚市 車 22.5 km、37分
川津 6 8 0 - 4 1



地図データ ©2024 5 km

県道30号 経由 37分

交通状況を反映した現時点の最速ルート 22.5 km

22.5 x 2 (往復) = 45 km

県道503号と県道30号 経由 48分

30.2 km

「〒820-0067 福岡県飯塚市川津 6 8 0 - 4 1」周辺のスポット



レストラン



ホテル



ガソリンスタンド



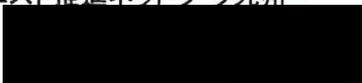
駐車場



もっと見る

領収証添付
【調査研究費】

— 領 収 証 —

		令和5年7月29日
宗像市議会議員 森田 卓也 様		NO. 3
金額 5,000 円		
<u>但し書 どうする？議員の数 減らす？増やす？輝け！議会 対話による地方議 会活性化フォーラム in 飯塚 1日目の受講料として 上記領収いたしました。</u>		
〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18		
ロ~カル・マニフェスト推進ネットワーク九州		
代表 		

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 森田 卓也

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	輝け議会!! 対話による地方議会活性化フォーラム in 飯塚		
分類	<input type="checkbox"/> 視察 <input checked="" type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日程	令和5年7月29日(土)		
時間	13:00 ~ 16:30	場所	飯塚研究開発センター
概要	<p>(内容)</p> <p>議員定数の問題は議員内でも大きく意見が分かれます。「減らすのは自殺行為だ」という声がある一方で、「少数精鋭にして報酬をあげる」というような声もあります。議員定数について、こういった視点や論点があるかなどを研修した。</p> <p>第一部 (基調講演) 講師：江藤 俊昭氏 (大正大学教授) テーマ：『議員定数を考えるための視点と地方議会の課題－「住民自治の根幹」としての議会を作動させるため』</p> <p>第二部 ◆ディスカッション 『どうする？議員定数を考える視点や論点とは？』</p>		
所感	<p>議員定数についての視点や論点について研修できたことは大変意義があった。議員の定数などについては、様々な視点や考え方が示されたが、その中で「市民と共に冷静に議論して決めるべき。」との説明があり、市民と議員が納得する議員定数の条件とは何なのかを検討することが重要だと感じた。</p> <p>今後とも、議員の定数などの諸課題には関心をもって取り組みたい。</p>		

(様式2)
フォーラムの様子

